

あすなろ

2014年1月
第3号
あすなろ作成委員



2014年になりました！

今年「午年」。
馬は「物事が“うま”くいく」「幸運が駆け込んで来る」
などと言われる縁起の良い動物だそうです。
事務職員の皆様、そのご家族の皆様にとって素晴らしい
1年になるよう心からお祈り申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

自前研修報告

自前研修に参加して

土佐清水市立清水中学校 主事

11月23日に自前研修に参加しました。高知市初月小学校の 教頭先生による「言語活動」をテーマにした講演会でした。私は職員会など大勢の人の前で放すことが苦手で、少しでも克服するヒントを得たいと思い参加しました。

10年ほど前から、“コミュニケーション”ということがよく言われるようになり、教育においても言語に関する能力が重視されるようになってきたというお話がありました。その中でも特に印象に残っているのが、1人の児童が“うざい”という言葉ばかりを言うため、先生が辞書を引いてその児童に「今の自分の気持ちはこの中でどれか」と問い、選ばすと“やきもち”だったという実際にあったお話です。このように“うざい”という言葉ばかりを使うのは、社会化された感情の言葉が少ないためと 教頭先生はおっしゃっていました。私自身、学校現場で働いていると、そういった場面に出くわすこともあるので、「ああ、そういうことなのか」ととても納得でき、そういったことを常に頭に入れた上で生徒と接していきたいと思いました。また、初月小学校では、たくさんの言葉を自分で調べて書き残す“言葉貯金”に取り組んでおり、目標にしてる2万語に達したらパーティーをする計画を立てていることや、児童同士で相談し合う、“こども相談室”に取り組んでいることを聞きました。このように子どもの意欲を引き出しながら学ぶことや、幼いころからコミュニケーションを取るということがどれだけ重要であるかを改めて考えることが出来ました。



また、小学生がスピーチ練習をするときに作成する原稿を自分たちも書き、ペアでスピーチし合うといったことも実践しました。まず、用紙の左半分に“始”“中”“終”の三段階でスピーチ内容を書き、それぞれ最初の1言目に蛍光ペンで印をします。右側にはその蛍光ペンで印した部分のみを記入し、半分に折り、右側を見て話すという方法でした。実際に行ってみて、想像していた以上にスラスラと話すことができ自分でも驚きでした。それと同時に自分の伝えたいことを相手に分かってもらうためには、場を踏むことはもちろんのこと、しっかりと準備をすることがとても大切だと実感しました。

今回の研修で、子どもたちに対しての理解を深める事ができたうえ、苦手意識を持っていたことを少し克服することができ、とても有意義な研修になりました。



自前研修お疲れさまでした。



総括主任より

「提案型事務職員」

黒潮町立大方中学校 総括主任

11月下旬、あすなる編集委員の さんより「内容はなんでもいいので、総括主任として原稿を書いてください。」と依頼されました。何でもいいというのが簡単そうで逆に難しく、それに「総括主任として」とつくとなおさらで、ますます困難な状況に陥ってしまいました。

ということで、自分の頭一つでは到底できそうにないので、以前講義を受けた 氏の資料にあった「提案型事務職員を目指して」の提言の部分を簡単にまとめて紹介します。



・「提案型事務職員を目指して」・

学校事務職員がお手伝い的な仕事だけをしていたのでは、現代の学校は機能しえない。またその役割は極めて重要である。そこで学校における意思形成過程において助言、提言等を行う事務職員のスタイルを整理すると次の5つのようなことであると考える。

1. 情報・データの積極的収集及び提供

学校内外の情報を積極的に収集し、必要に応じ分析しつつ、タイムリーに校長以下に提供する。当然ながら情報の質も問われるし、遅れた情報は価値がない。

2. 助言

制度面、財政面、行政面、政策面など事務職員としての専門的視点から管理職に助言を行うこと。日常的な業務処理はもとより、職員会議等における助言が重要。助言は常に実現を目指した前向きなものであることが求められる。

3. 調整・整理

総合的かつ全校的な視点で校内の諸組織間の意見、利害などの調整整理を行い、1つの組織としての学校の一体化に資する。対外的には、学校と関係諸機関との橋渡しの調整・連絡を含む。

4. 企画立案・提言

専門的立場から、総合的かつ全校的な視点で具体の案を企画立案し、問題点を付して管理職に提言すること。「これはどうしましょう？」ではなく「このような案や問題点が考えられますが、ご検討ください」というように。

5. 情報発信・広報

学校の現状と課題について、学校の内外に向けて情報発信・広報すること。

学校現場では、これら5つのことが重なり合って行われる必要があり、それにより事務職員が学校の**経営スタッフ**として機能することになる。

スピードが要求される現代社会。さまざまな変化にも対応していかなければなりません。あれもこれもとやるのがいっぱい飽和状態になることがあります。決して後ろ向きになるのではなく、「事務職員の立場から提案出来ること、発想できることはないか？」自分の頭で考え行動できるようにしたいと思います。1つでも実行できれば、そのことで達成感を味わうことができ、そしてやりがいにもつながり、いい連鎖がはじまるのではないのでしょうか。

新しい年がはじまりました。今年も皆さんの力を借り前向きに取り組んでいきたいと思っています。提案できる事務職員を目指して！



さんありがとうございました。
原稿依頼の際にも「何でも…」ではなく「今回はこのような原稿でお願いできますか？」と提案していけるあすなる委員になれるように頑張ります！（ ）

第85回 幡多地区公立学校事務職員研修会のお知らせ

今回の冬季研修会では…

先生に
お話しして頂きます!!!



(目的) 公立学校における事務に携わる者として、職務に専念するうえで知識を習得し、資質の向上を図り、学校教育の推進に寄与する。

(期日) 平成26年2月3日(月)

(場所) 四万十市立中央公民館 2階大会議室Ⅱ

(日程)	12:45~13:00	受付	
	13:00~13:10	開会行事	
	13:10~14:00	研修	採用2年次事務研修報告
	14:00~14:10	休憩	
	14:10~16:30	講演	演題 「学校経営ビジョンの実現と学校事務」 講師：兵庫教育大学大学院 教授 氏
	16:30~16:40	質疑応答	
	16:40~16:50	閉会行事	

(申込) 利岡小 < >
資料準備のため、1月24日(金)までにお申し込みください。



幡多地域の学校はほとんどが児童生徒100名未満の小規模校です。50名もいない学校も多いです。そんな中で、わたしたち事務職員は学校経営に参画するためにどのような取組をしたらいいのかという研修をたくさんしています。

しかし、研修で学んだことをどのように生かしたらいいのか悩む事があります。教員はやらなければならないことがたくさんあり(学力向上・公務分掌上の仕事・子どもの健康・保護者への対応)、新しいことをはじめようとすると拒否反応を示すことが多いです。管理職もそんな教員に配慮してか、新しい取り組みを断念することも少なくありません。みなさんの職場ではいかがですか？

日渡先生には是非、小規模校に勤務する私たち事務職員が、どのような視点で教職員と関われば、より、効果的な教育活動が行えるようになるのか？教えて頂きたいと思います。また、これからの学校の在り方や共同実施組織の未来像などもお聞きしたいと思いますので、職場の管理職の先生や教育委員会の方などもお誘いして、たくさんご参加ください。よろしくお祈りします。



幹事会報告

◎ 夏季研修会の反省（参加者1日目 181名、2日目 178名うち県外参加者7名）

- ・ 高知会館は会場がフラットであることから、正面のプレゼン報告の時、会場中央から後ろのテーブルに座っている方はスクリーンの3分の1から半分程度しか見ることができないため、プレゼン等を大きくする際に配慮が必要。
（できるだけ上部に大きく見えるような工夫を検討。）
- ・ 各支部担当者は、毎回持参する研修会反省について、ピックアップして報告する部分に下線を付けるよう工夫した方が聞く側にも分かりやすい。
- ・ 申し込みの様式について簡素化したほうがよいという意見。参加申込書については、県大会の持ち方によっては不要な場合もあるかもしれない。ただし、グループ協議を予定する場合は住所までは必要ないにしても、学校名および氏名については、担当する者にも把握しやすいため必要という意見。その都度、運営担当の支部で申し込み様式を検討すること。
- ・ 大会に参加出来なかった人に対し、次は参加してみようと思わせるものを県のHPに掲載することはできないだろうか。不参加の方への情報提供、次回大会への参加意欲に繋げるため。
例えば、今回の反省について集約したものを報告書としてHPに掲載し魅力を伝えること等、アイデアはいくらでもある。（高吾支部からの意見）
県HP検討委員会としては発信してかまわないものは検討する余地がある。（掲載する内容は精査し、HPの有効活用を検討）ただし、せっかく会費を払って参加していただいている方もいるわけだから、不特定多数の方に、HPに掲載して見せることについては抵抗がある。メリットもあるがデメリットの部分も多い。（副会長 さん）
- ・ 来年度の四国大会では、学校評価に関する部分が研修テーマの1コマである。今年度報告した幡多支部からの協力を頂けるとありがたい。
平成27年度大会は香長支部が担当、運営を高知支部が担当
* 時期は未定だが、香長支部が発表した「備えあれば患いなし～南海大地震、そのと
きのために～」の資料等について、今後、支部のページにアップするとのこと。

◎ 冬季研修会

（期 日） 平成26年1月24日（金）

（テーマ） 「新たなスタートに向けて」

- （内 容）
- ・ 福利厚生に関する実務研修
福祉事務の手引きを用いて実務研修を行う。
 - ・ 新再任用制度について
実際に今年度あった話のほかに制度の福利厚生に関する手続きや年金についての話など。
 - ・ 学校評価について 講演
今回は学校評価の導入について、学校評価の概要、学校改善プランや目標設定シートとの連動性など。

福利厚生に関する質問があれば、個人で、野市小 まで



◎ 次年度夏季学習会

平成26年7月29日開催予定。（高吾支部が担当。）

夏季学習会推進委員会を立ち上げた。11月12日に第1回を行った。次回1月27日。
推進委員長（ ）、副（ ）、総責任者（ ）

内容は、高吾支部で取り組んでいる内容を、人材育成という視点から県レベルで発表。
午前中を希望。9：40～11：50（2時間10分）

内容によって20分延長し、2時間30分になることも検討？

開会式を早めるか、閉会を遅らせるか弾力的な時間設定が必要。

公共交通機関利用者は、開会時間によっては中村駅を6時6分初発の特急でないと間に合わない場合もある。7時発の便もあるが高知駅到着は9時2分。

また、閉会后、中村へ帰る場合の最初の特急は16時52分であるが、これに間に合う可能性は移動のことも考慮すると低い。